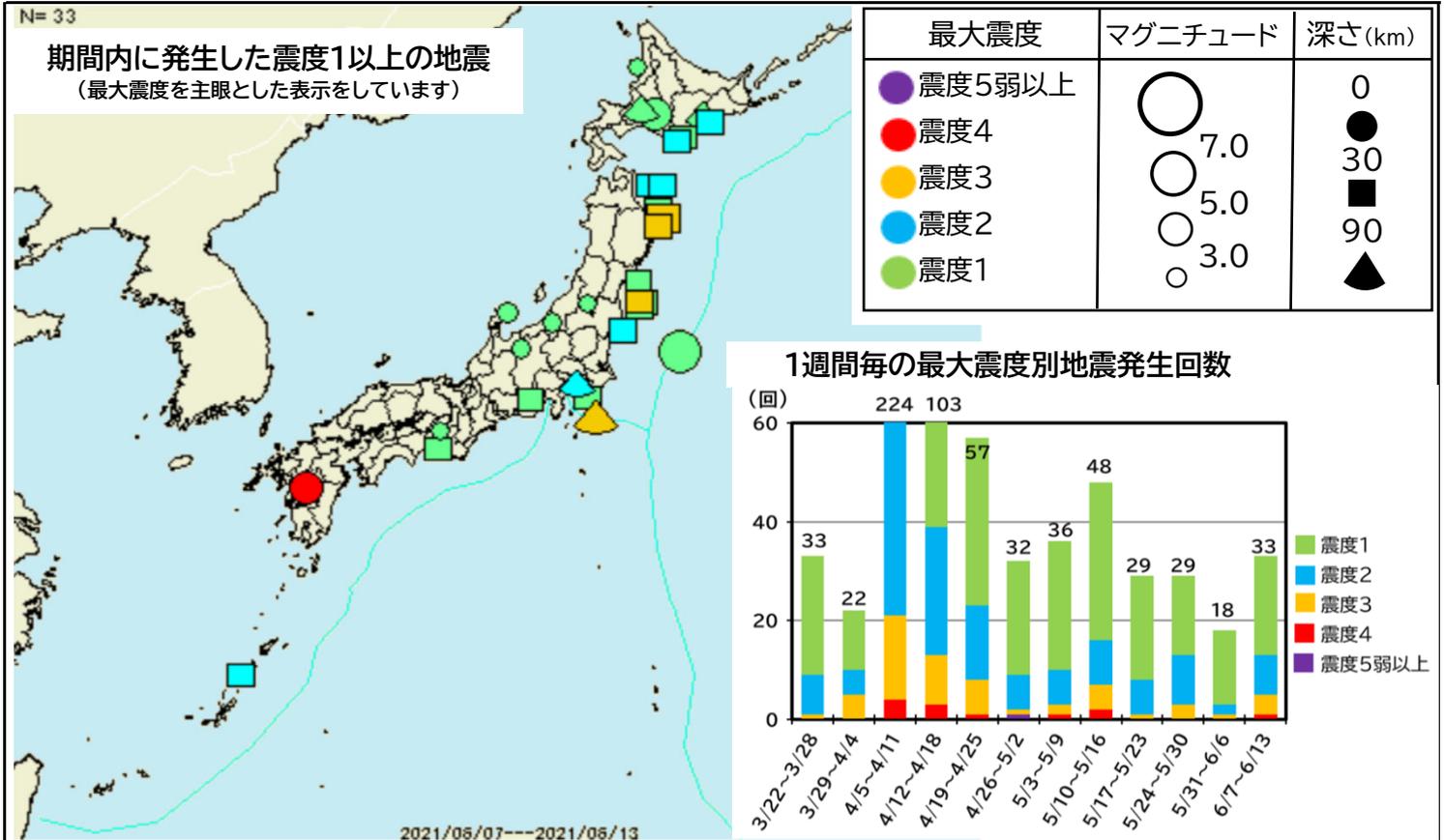


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が33回発生。最大震度は4(熊本県) ■
- ・震度1以上を観測した地震は、前期間に比べやや多く33回を観測した。最大震度4の地震も4期間ぶりに観測。
- ・7日03時11分に千葉県南東沖で発生した地震(M5.1、深さ93km)により、千葉県館山市、静岡県伊豆の国市及び東伊豆町で震度3を観測したほか、関東甲信地方及び静岡県で震度2~1を観測。この地震は、太平洋プレート内部で発生した正断層型。
- ・8日16時59分に熊本県熊本地方で発生した地震(M3.9、深さ11km)により、熊本県宇城市で震度4を観測したほか、福岡県から鹿児島県にかけて震度3~1を観測。この地震は地殻内で発生した横ずれ断層型。
- ・8日10時19分に福島県沖で発生した地震(M4.9、深さ79km)により、福島県郡山市、白河市などの広い範囲、宮城県石巻市、登米市などの広い範囲で震度3を観測したほか、青森県~東京都にかけての広い範囲で震度2~1を観測。この地震は、太平洋プレート内部で発生した正断層型(トピックス参照)。
- ・9日22時05分に岩手県沖で発生した地震(M5.0、深さ38km)により、青森県南部町及び階上町で震度3を観測したほか、北海道、青森県、岩手県、宮城県及び秋田県で震度2~1を観測。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型。

トピックス

- 福島県沖の最近の地震活動 ■
- ・2月13日に福島県沖で発生したM7.3の地震により最大震度6強を観測した以降、震度4が3回、震度3が11回発生するなどの活動が続いている。これらのうち、主な地震の震央分布図(図1)および断面図(図2)を示した。
- ・8日の地震は陸のプレートの下に沈み込んでいく太平洋プレート内で発生した。
- ・この地域の沈み込むプレート内で発生する地震の断面図を見ると、図2のように地震が発生している場所が2重になっている特徴的な分布をしており「二重深発地震面」と呼ばれている。今回の地震は二重深発地震面の下面で発生した。このような二重の地震面が何故生じるのかはよくわかりません。

